

## ThorensTD124 の活用(2)

— EMI DLS529 —

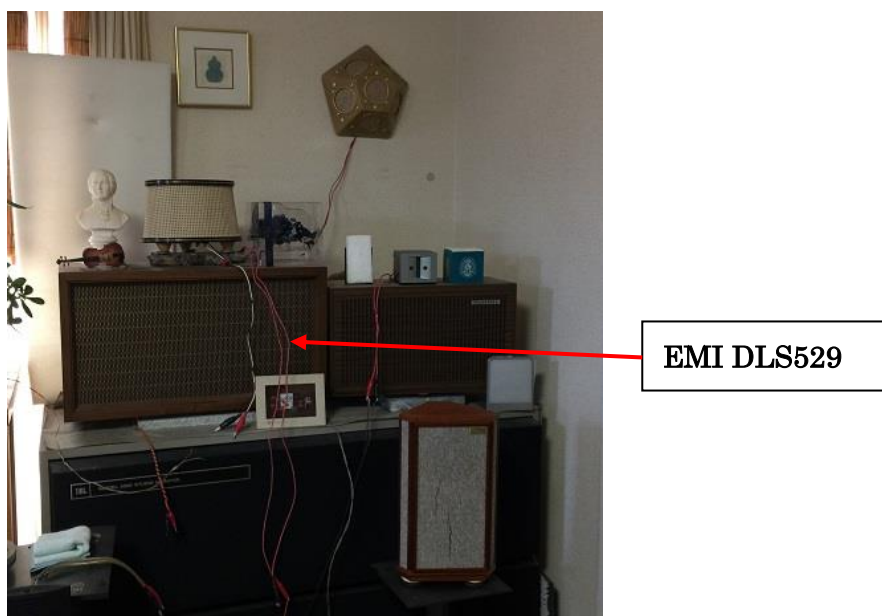
### 1. 始めに

前報(1)に引き続き、EMI DLS529 のシステムで聴いていきます。

### 2. ThorensTD124 の試聴方法

ThorensTD124 と Garrad401 の再生は、前報(1)のとおりです。

EMI DLS529 の駆動アンプの Rogers CadetIII には TruPhase から ExProSV-1 経由で入力します。



ThorensTD124 の音源は下記とします。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー：ワルキューレ全曲

ゲオルグ・シオルティ指揮ウイーンフィル

Garrad401 の音源は下記とします。

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

## 2. ThorensTD124 の試聴結果

ThorensTD124 の Sonatas & Partitas は、メインシステムの 300B シングルアンプ駆動の FAL C90EXW ほどではありませんが、Milstein の艶のあるヴァイオリンがごちんまりとまとまっています。

ワルキューレは、メインシステムに比べると、肌理は若干粗いですが、音量を上げるとサイズの割にはスケール感もでてきます。

Garrad401 のチェンバロ協奏曲は、バロックアンサンブルらしい、繊細な表現もあり、まとまりのある音になっています。

倍賞千恵子は、ボーカルの伸びもあり、バランスのよい音になっています。

## 4. まとめ

ThorensTD124 は、プレイヤー、トランス、真空管式のフォノイコなどの効果に加えて、これまでの Ex-Pro SV-1 や Rogers CadetIII に対する対策が効果を発揮し、バランスのよいまとまった音がしています。

Garrad401 は、ZANDEN Model120 の効果で、明晰でバランスの良い音になっています。

以上